

JA 0002266

JAN 1978

338 M 78

**(54) PERSONAL ORNAMENTS**

(11) Kokai No. 53-8266 (43) 1.25.1978 (19) JP

(21) Appl. No. 51-81757 (22) 7.9.1976

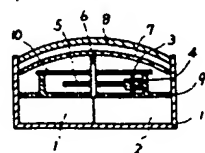
(71) DAINI SEIKOSHA K.K. (72) RIYOUZOU HASEGAWA

(52) JPC: 131B0

(51) Int. Cl.<sup>2</sup>. A44C25.00

**PURPOSE:** To make a finely patterned glass and a reflector movable so that optical interference phenomena occurring between the glass and the reflector or between the glasses become variable whereby aesthetic effect of a personal ornament becomes variable whereby aesthetic effect of a personal ornament becomes renewed.

**CONSTITUTION:** This personal ornament is to be composed of a battery 1, a motor 2, a motor shaft 3, pinions 4 and 5, a rotary shaft 6, a reflector 7, and a glass 8, a base plate 9, a receptacle 10 and a casing 11, etc. As the battery 1 supplies power, power, the motor 2 is started to rotate the motor shaft 3. The motor shaft's rotation is reduced by the pinions 4 and 5 and then conveyed to the rotary shaft 6 so that the reflector 7 fixed onto the rotary shaft 6 is slowly rotated. Because of the fine patterns on the reflector 7 and the glass 8, striped patterns and colors produced by the interference of light become seen to be varied continuously, and therefore, its effect as an accessory becomes largely increased.



⑬日本国特許庁

⑭特許出願公開

公開特許公報

昭53-8266

⑮Int. Cl.<sup>2</sup>  
A 44 C 25/00

識別記号

⑯日本分類  
131 B 0

庁内整理番号  
6960-21

⑰公開 昭和53年(1978)1月25日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑱装身具

号 株式会社第二精工舎内

⑲出 願 人 株式会社第二精工舎

東京都江東区亀戸6丁目31番1号

⑳特 願 昭51-81757

㉑出 願 昭51(1976)7月9日

㉒発 明 者 長谷川量造

東京都江東区亀戸6丁目31番1

㉓代 理 人 弁理士 最上務

明 細 書

発明の名称 装身具

特許請求の範囲

電池とモータを内蔵し、上記モータによつて細かい模様を入れたガラスまたは反射板を駆動し、光学的干渉状態に変化を起させるようにしたことを特徴とする装身具。

発明の詳細な説明

本発明は、装飾部分を可動とした装身具に関するものである。

従来の装飾的部分を可動とした装身具は、動きが比較的単純となるうらみがあつた。本発明は、細かい模様を入れたガラスまたは反射板を動かすことによつて、ガラスと反射板の間、あるいはガラスとガラスの間で生じる光学的干渉現象の状態を変化を与え、従来になかつた新しい装飾効果をもつた装身具を提供することを目的とする。

本発明の実施例について、図面を参照して説明

すると、図は、本発明の実施例の断面図で、1は電池、2はモータ、3はモータの軸、4、5は歯車、6は回転軸、7は反射板、8はガラス、9は基板、10は受、11はケースである。

1の電池から電力が供給されると、2のモータが作動し、3のモータ軸が回転する。この回転は4、5の歯車で減速され、6の回転軸に伝えられ、回転軸に固定された7の反射板がゆるやかに回転する。

したがつて、7の反射板と8のガラスに細かい模様を入れておくと、光の干渉によつて生じるしき模様と色が時々刻々変化して見え、アクセサリとしての効用を著しく増すことができる。

本発明は、ペンダント、ブローチ、指輪、イヤリング、髪留め、ネクタイピン、カフスボタン等の装身具に適用することができる。これによつて、今までになかつた全く新しい魅力をもつたアクセサリが得られ、その実用的効用は極めて大きい。

図面の簡単な説明

特許第53-8266(2)

図は、本発明の実施例の断面図。

以 上

代 理 人 最 上 務

